

静岡県立高等学校施設整備規準
(設計資料編)

令和6年4月

静岡県教育委員会教育施設課

設計資料編目次

資料1	1
I 標準面積表	1
II 加算面積表	2
III その他施設基準面積	3
IV 諸元表	3
V 図書室面積表	3
資料2	4
部位・部材仕様水準表	4
資料M-1	13
高等学校における冷暖房設備、換気設備の設置	13

資料 1

I 標準面積表

室名		設置数	単位面積 (㎡)	考慮すべき配置等		
校舎		1(2棟)	A×40×K	メイン校舎2棟を原則とする		
普通教室	普通教室 (普通教室内にロッカーを配置する場合)	Kn	80.00	学科、学年ごとに同一階及び同一区画		
	普通教室 (普通教室内にロッカーを配置しない場合)	Kc	65.70	学科、学年ごとに同一階及び同一区画		
	ロッカースペース (普通教室内に配置しない場合)	Kc	11.25	普通教室内に設置		
	選択教室	共通履修室	3	65.00	普通教室と近接	
	選択教室【単位制】	共通履修室	6	52.56	普通教室と近接	
管理諸室等	校長室	1	32.85	事務室・職員室と隣接		
	事務室	1	131.40	外来用玄関や校長室・職員室と隣接		
	応接室	1	32.85	校長室と隣接		
	会議室	1	(T+J)×1.99			
	職員室	1	(T-1)×3.39	校長室と同一区画、運動場を視認		
	湯沸室	0	0.00	新設しない		
	印刷室	1	32.85	事務室、職員と隣接		
	保健室	1	65.70	静穏、日照、採光、通風、緊急車両等		
	職員休養室	2	16.425	男女別		
	職員更衣室	2	16.425	男女別		
	進路指導室	資料室含む	1	65.70	静穏、プライバシー	
	生徒指導室	資料室含む	1	65.70	静穏、プライバシー	
	教材室	国語、数学、社会、英語	4	32.85		
	教科研究室	国語、数学、社会、英語	4	32.85		
	放送室		1	32.85		
	購買室		1	32.85		
	生徒会室		1	32.85		
	生徒更衣室		2	32.85	男女別	
	技能員室		0	0.00	新設しない	
	体育教官室	(体育準備室)	1	25.82	体育館内設置	
	体育器具庫		0	0.00	新設しない	
	部室	(校舎内)	0	0.00	校舎内は新設しない	
	図書室	閲覧席、司書室含む	1	図書室面積算定による	休日使用、地域開放(要区画)、1階に配置	
	理科等	化学室	化学室	1	165.15	準備室と隣接
			準備室	1		
		化学室【単位制】	化学室	1	132.12	準備室と隣接
			準備室	1		
生物室		生物室	1	165.15	準備室と隣接	
		準備室	1			
生物室【単位制】		生物室	1	132.12	準備室と隣接	
		準備室	1			
物理室		物理室	1	165.15	準備室と隣接	
		準備室	1			
物理室【単位制】		物理室	1	132.12	準備室と隣接	
		準備室	1			
地学室		地学室	1	165.15	準備室と隣接	
		準備室	1			
地学室【単位制】	地学室	1	132.12	準備室と隣接		
	準備室	1				
理科系薬品庫等	薬品庫暗室	1	32.85			
特別教室 家庭科等	調理室	調理室	1	165.15	準備室と隣接、食中毒等配慮	
		準備室	1			
	被服室	被服室	1	165.15	準備室と隣接	
		準備室	1			
	作法室		0	0.00	新設しない(部活使用のため)	

芸術科等	音楽室	音楽室	1	165.15	周囲への騒音配慮
		準備室	1		
	音楽室【単位制】	音楽室	1	132.12	周囲への騒音配慮
		準備室	1		
	美術室	美術室	1	165.15	
		準備室	1		
	美術室【単位制】	美術室	1	132.12	
		準備室	1		
	書道室	書道室	1	131.40	
		準備室	1		
	書道室【単位制】	書道室	1	132.12	
		準備室	1		
視聴覚室等	視聴覚室 (多目的室)	視聴覚室	1	209.45	静穏、日照、採光、通風等
		準備室	1		
	LL教室	LL教室	0	0	新設しない
		準備室	0	0	新設しない
共用部	生徒ホール		1	141.75	
	生徒ホール【単位制】		1	283.50	
	玄関(職員・外来者)		1	88.00	
	玄関(生徒)		1	88.00	一足制の場合、清掃マット、運動靴等の保管場所等
	生徒昇降所	(1足制の場合は無し)	(1)	0.20×40×K	
	職員昇降所	(1足制の場合は無し)	0		
	階段		階数×2	32.85	1棟当たり(2棟なら×2)
	階段【大規模】		1棟	425.30	(過去実績より、新校舎延床面積×5.7%)
	便所(生徒用)		階数×2	32.85	男女別 1棟当たり(2棟なら×2)
	便所(教職員、来賓)		2	32.85	男女別
	便所【大規模】	生徒、教職員及び来賓用	1棟	440.30	(過去実績より、新校舎延床面積×5.9%)
	倉庫		0		
	機械室		1	32.85	
EV		階数×1	6.75	1棟(機)当たり	
廊下		1		廊下以外の校舎面積×0.25-(80-65)×K×0.25-11.25×K	

理科室薬品庫等に含まれる室例： 試薬室、倉庫(薬品)、倉庫(器具)、暗室倉庫(標本)、暗室、天秤室、工作室、研究室

II 加算面積表

II-1 SSH等に係る加算

	室名	設置数	単位面積(㎡)	考慮すべき配置等
理 科 室 追 加	化学室 (準備室含まず)	1	130.00	SSH若しくは準じる場合のみ
	生物室 (準備室含まず)	1	130.00	SSH若しくは準じる場合のみ
	物理室 (準備室含まず)	1	130.00	SSH若しくは準じる場合のみ
	天体観測室	1	基準外	磐田南のみ

II-2 定時制設置に係る加算

	室名	設置数	単位面積(㎡)	考慮すべき配置等
定 時 制	定時制職員室	1	PT×3.39	
	定時制普通教室	0		全日制の教室を使用
	定時制生徒指導室	0		全日制を含む生徒進路系諸室に含む
	定時制生徒会室	1	32.85	
	定時制準備室			基準外
	給食室	1	1.6×P×PK×1/2	食事を取る生徒の半数

II-3 特別支援学校分校設置に係る加算

	室名	設置数	単位面積(㎡)	考慮すべき配置等	
特 別 支 援 学 校 分 校	職員室	1	ST×3.39	普通教室と同一階及び同一区画	
	管理諸室	職員更衣室兼休養室	2	26.25	男女別
		生徒相談室	1	26.25	静穏、プライバシー
		保健室	1	52.50	静穏、日照、採光、通風、緊急車両等
		普通教室 (既存教室活用)	SC	32.85	
	普通教室 (新設)	SC	45.00		
	特別教室 作業室	1	65.70		
	屋内体育施設 (屋内体育施設新設の場合)	1	550.00	新設の場合、高校屋内体育施設面積に加算	

II-4 実業系高校及び定時制高校に係る加算

教育課程の特色(工業、商業、農業、水産、定時制)に応じて、実習系特別教室等の教室数及び面積の加算を学校毎に検討する。

III その他施設基準面積

区分	設置数	単位面積(m ²)	備考
敷地面積(目安)	1	53×40×K	標準面積に満たない場合でも、原則新たな土地の取得は検討しない
屋内体育施設	1	2,700.00	標準面積以内で整備 将来的に1棟に統合
プール(屋外)	1	-	K≥21の場合、50m長、K<20の場合25m長
グラウンド(目安)	1	-	必要面積を都度検討し、原則、新たな土地の取得はしない
駐輪場	必要数	1.25	面積/台×想定自転車通学者数
部室(校舎外)	必要数	300.00	標準面積を超えて新たな部室は設置しない

IV 諸元表

諸元表

クラス数等は、校舎等を供用開始する時点とする

項目	記号	備考
生徒一人当たり校舎面積	A	各校当たり、11.0を目安とする
クラス数(ロッカーが教室内)	K _n	ロッカーを教室内に配置するクラス数(新基準)
クラス数(ロッカーが教室外)	K _c	ロッカーを教室の外に配置するクラス数(従来基準)
教員数	T	教員数…標準法教員数 ※標準法+加配/標準法
事務職員数	J	高校事務職員
生徒数(高校)	40×K	40人/クラス (K=K _n +K _c)
図書室蔵書数	LB	新構想高校の場合は新校舎での蔵書数
図書室座席数	LS	KIに応じて、40~120席
定時制生徒定数	P	定時制生徒の定数
定時制教職員数	PT	13人(平均実教員11+養教1+事務1)
定時制生徒喫食率	PK	定時制生徒の内、食堂で食事をとる生徒の率
特別支援学校分校生徒数	S	
特別支援学校分校クラス数	SC	9人/クラス
特別支援学校分校教職員数	ST	

V 図書室面積表

表1 算定諸元

項目	記号	備考
クラス数(全学年合計)	K	供用開始時のクラス数
蔵書数	LB	供用開始時の蔵書数
座席数	LS	表2 座席数算定表による
蔵書収容力	CB	250冊/m ²
座席収容力	CS	0.5席/m ²
余裕度	M	1.5

表2 座席数算定表

クラス数	LS
K ≤ 17	40
18 ≤ K ≤ 24	80
25 ≤ K	120

表3 図書室面積算定式

項目	算定式
蔵書用面積(A1)	LB/ CB × M
閲覧用面積(A2)	LS/ CS × M
図書室面積(A)	A1 + A2

(算定例)

21クラス、蔵書35,000冊の場合
 $A1 = 35000 / 250 \times 1.5 = 210$
 $A2 = 80 / 0.5 \times 1.5 = 240$
 $A = 210 + 240 = 450\text{m}^2$

資料 2

部位・部材仕様水準表 **新築** 高等学校 校舎(S造)

機能	部位・部屋	構造・分類	対象	整備レベル	整備レベル	整備レベル	今回	標準	
				A	B	C			
標準	屋根・屋上	陸屋根	保護層	アスファルト防水 改質アスファルトシート防水 (保護工法)	アスファルト防水 改質アスファルトシート防水 (露出工法)		B	B	
標準	屋根・屋上	陸屋根	防水層	高耐久性防水	一般耐久性防水		B	B	
標準	屋根・屋上	勾配屋根	屋根葺材	ステンレス鋼板・瓦	ガルバリウム鋼板・コロニアル	普通鋼板(スチール)・シングル	B	B	
標準	屋根・屋上	勾配屋根		瓦	スレート(コロニアル)	アスファルトシングル	B	B	
標準	外壁	仕上	躯体	コンクリート・金属パネル	押出し成型セメント板	ALC・窯業系サイディング	B	B	
標準	外壁	仕上	仕上	タイル・木・高耐久塗装	防水形・弾性塗装	一般塗装・素地	B	B	
標準	外部開口部		サッシ	二重サッシ	複層ガラスサッシ	一般サッシ	B	B	
標準	外部開口部		網戸	あり	なし		A	A	
標準	外部開口部		窓	複層スクールテンパ (Low-eあり)	複層スクールテンパ (Low-eなし)	一般複層ガラス (Low-eなし)	A	A	
標準	内部	教室	床	下地	鋼製床組・置床	木床組・モルタル・シタダー	直貼	C	C
標準	内部	教室	床	仕上	ムクフローリング・フローリングブロック	複合フローリング	シート・カーペット・塗床等	B	B
標準	内部	教室	壁	仕上	木板(腰壁までも含む)	化粧ボード	塗装・クロス	A	A
標準	内部	教室	天井	仕上	木質系・岩綿吸音板	化粧PB	直天・塗装	B	B
標準	内部	廊下	床	下地	鋼製床組・置床	木床組・モルタル・シタダー	直貼	C	C
標準	内部	廊下	床	仕上	フローリング	機能性シート	一般シート・塗床	C	C
標準	内部	廊下	壁	仕上	木板(腰壁までも含む)	化粧ボード	塗装・クロス	C	C
標準	内部	廊下	天井	仕上	木質系・岩綿吸音板	化粧PB	直天・塗装	C	C
標準	内部	便所	床	下地	鋼製床組	木床組・モルタル・シタダー	直貼	B	B
標準	内部	便所	床	仕上	フローリング	シート(超防汚性)		B	B
標準	内部	便所	壁	仕上	木板・化粧ケイカル板	メラミン不燃化粧板	塗装	B	B
標準	内部	便所	天井	仕上	化粧ケイカル板	ボード・塗装	塗装	B	B
標準	内部	間仕切		学校間仕切	木製特注	木製規格品	金属製規格品	C	C
標準	内部	建具		防火戸以外	木製特注	木製規格品	金属製規格品	B	B
標準	内部	その他		家具什器類	黒板・ロッカー・実験台類	黒板・ロッカー類	黒板・掲示板程度	C	C
標準	電気設備	受変電設備	受変電・幹線ケーブル	特高	高圧	低圧	B	B	
標準	電気設備	弱電設備	通信・放送・テレビ・防犯 警備等	特殊	一般	なし	B	B	
標準	給排水衛生設備	給水設備	受水槽・高置水槽・ポンプ	高架水槽	加圧	直圧	B	B	
標準	給排水衛生設備	給水設備	配管類	銅管	銅管・一部樹脂管	樹脂管	B	B	
標準	給排水衛生設備	給湯設備	給湯方式	中央方式	局所式	なし(電気ポット)	C	C	
標準	給排水衛生設備	ガス設備	配管類	PLP・PLS		銅管	A	A	
標準	空調設備	冷暖房設備	熱源	中央方式	個別方式		B	B	
標準	空調設備	換気設備	換気方式	自然換気・一部機械換気(窓 換気扇等)	機械換気(便所)	自然換気	A	A	
標準	空調設備	換気設備	換気量	ビル管理法準拠	学校衛生基準対応	シックハウス対応	A	A	
標準	その他		グラウンド	全体改修	部分改修	改修なし	C	C	
標準	その他		プール	屋内プール	屋外プール(必要性検討)	なし	B	B	

付加	学習環境の向上	多目的・オープンスペース、 メディアルーム等	専用スペース	可動間仕切化	なし	B	B
付加	学習環境の向上	内装木質化(教室のみ)	床・壁	床	なし	A	A
付加	学習環境の向上	教室空調(GHP、EHP)	全体	一部	なし	A	A
付加	学習環境の向上	トイレ乾式化・非接触化	全体	一部	なし	A	A
付加	省エネルギー対応	全熱交換器	全体	一部(管理階室のみ検討)	なし	B	B
付加	省エネルギー対応	屋上の断熱	外断熱(防水)	内断熱(スラブ下) ウレタン50mm	なし	B	B
付加	省エネルギー対応	外壁の断熱	外断熱パネル	内断熱 ウレタン50mm	なし	B	B
付加	省エネルギー対応	高効率照明(LED)	全体	一部	なし	A	A
付加	省エネルギー対応	日射抑制ひさし	全体	一部	なし	B	B
付加	省エネルギー対応	太陽光発電	あり(要検討)	独立基礎	なし	B	B
付加	省エネルギー対応	高効率FF暖房	全体	一部	なし	C	C
付加	バリアフリー化	エレベーターの設置	あり		なし	A	A
付加	バリアフリー化	多目的トイレの整備	各所	各階	一部	B	B
付加	バリアフリー化	スロープの設置	あり		なし	A	A
付加	防災機能の強化	避難所運営スペース	専用室	兼用	なし	B	B
付加	防災機能の強化	ガラス飛散防止	合せガラス	フィルム(Low-eガラス部)	なし	B	B
付加	防災機能の強化	自家発電設備	あり(要検討)		なし	A	A
付加	防災機能の強化	井戸	検討		なし	A	A
付加	防災機能の強化	設備二重化	あり(要検討)	一部(事務室等)検討	なし	C	C
付加	メンテナンス性向上	1階水周り下ピット化	全体	一部	なし	A	A
付加	メンテナンス性向上	屋上階段設置	あり		なし	A	A
付加	メンテナンス性向上	PS・EPS・DS設置	あり	一部	なし	A	A

部位・部材仕様水準表		計画保全		高等学校			校舎		
機能	部位・部屋	構造・分類・対応	対象	整備レベル		整備レベル	整備レベル	今回	標準
				A	B				
回復	屋根・屋上		改修範囲	全体	劣化部のみ	既存のまま		B	B
回復	屋根・屋上		下地処理	撤去工法	かぶせ工法 (荷重計算は必須)	部分補修		B	B
回復	屋根・屋上	陸屋根	保護層	保護防水	露出防水			B	B
回復	屋根・屋上	陸屋根	防水層	高耐久性防水	一般耐久性防水			B	B
回復	屋根・屋上	勾配屋根	屋根葺材	ステンレス鋼板・瓦	ガルバリウム鋼板・コロニアル	普通鋼板(スチール)・シングル		B	B
回復	屋根・屋上	勾配屋根		瓦	スレート(コロニアル)	アスファルトシングル		B	B
付加	屋根・屋上	省エネルギー対応	屋上の断熱	外断熱(防水)	内断熱(スラブ下) ウレタン25mm	なし		C	C
付加	屋根・屋上	メンテナンス性向上	屋上階段設置	設置		なし		C	C
回復	外壁	仕上	躯体	コンクリート・金属パネル	押出し成型セメント板	ALC・窯業系サイディング		C	C
回復	外壁	仕上	既存塗膜処理	全撤去	脆弱部撤去	洗浄のみ		B	B
回復	外壁	仕上	仕上	タイル・木・高耐久塗装	防水形・弾性塗装	一般塗装・素地		B	B
回復	外壁	S・W	改修範囲	全体	劣化部のみ	既存のまま		B	B
回復	外壁	S・W	外壁材・パネル	金属・木質系パネル	押出成型セメント板	ALC・窯業系サイディング		C	C
回復	外壁	バルコニー	床防水	全撤去更新	かぶせ工法	部分補修・保護塗装		C	C
回復	外壁	バルコニー	手摺	全撤去更新	部分補修	塗装更新		C	C
付加	外壁	省エネルギー対応	外壁の断熱	外断熱パネル	内断熱・ウレタン50mm	なし		C	C

回復	外部開口部	アルミサッシ	改修範囲	全体	一部	既存のまま	C	C	
回復	外部開口部	アルミサッシ	アルミサッシ工法	撤去工法	カバー工法	クリーニング・塗装	A	A	
回復	外部開口部	アルミサッシ	サッシ	二重サッシ	複層ガラスサッシ	一般サッシ	B	B	
回復	外部開口部	S・W	開口廻り	SUS、アルミ更新	調板更新	既存のまま	C	C	
付加	外部開口部	省エネルギー対応	開口部の断熱	Low-eガラス	一般複層ガラス・一部Low-eガラス	なし	C	C	
付加	外部開口部	省エネルギー対応	自然換気の導入	全体	一部	なし	C	C	
付加	外部開口部	省エネルギー対応	日射抑制ひさし	全体	一部	なし	C	C	
付加	外部開口部	防災機能の強化	ガラス飛散防止	合せガラス	フィルム(Low-eガラス部)	なし	C	C	
回復	内部	便所	床	改修範囲	全体	一部	なし	B	B
回復	内部	便所	床	既存処理	下地撤去	仕上撤去	既存残置	B	B
回復	内部	便所	床	下地	鋼製床組	木床組・モルタル・シンダー	直貼	B	B
回復	内部	便所	床	仕上	フローリング	シート	既存研磨・クリーニング	B	B
回復	内部	便所	壁	改修範囲	全体	一部	なし	B	B
回復	内部	便所	壁	既存処理	仕上・下地撤去	仕上撤去	既存残置	C	C
回復	内部	便所	壁	仕上	木板・化粧ケイカル板	ボード+塗装	塗装・クリーニングのみ	C	C
回復	内部	便所	天井	改修範囲	全体	一部	なし	A	A
回復	内部	便所	天井	既存処理	仕上・下地撤去	仕上撤去	既存残置	A	A
回復	内部	便所	天井	仕上	化粧ケイカル板	ボード+塗装	塗装・クリーニングのみ	B	B
付加	内部	便所	学習環境の向上	乾式化	全体	一部(1系統)	なし	B	B
付加	内部	便所	学習環境の向上	非接触化(衛生器具)	自動洗浄小便器 自動水栓		なし	A	A
付加	内部	便所	学習環境の向上	非接触化(照明スイッチ)	人感センサー		既存のまま	A	A
付加	内部	便所	学習環境の向上	非接触化(入口扉)	間仕切り・クランク (可能な場合)		既存のまま	A	A
付加	内部	便所	バリアフリー化	多目的トイレの整備	設置(可能な場合)		なし	B	B
付加	内部	便所	メンテナンス性向上	1階水周り下ビット化	全体	一部	なし	C	C
回復	電気設備	受変電設備	受変電・幹線ケーブル	特高	高圧	低圧	B	B	
回復	電気設備	電気設備	分電盤・配線	全更新	部分更新	不具合補修	A	A	
回復	電気設備	弱電設備	通信・放送・テレビ・防犯警備等	特殊	一般	なし	A	A	
付加	電気設備	省エネルギー対応	高効率照明(LED)	全体	一部	なし	A	A	
付加	電気設備	省エネルギー対応	太陽光発電	あり(要検討)		なし	C	C	
付加	電気設備	防災機能の強化	自家発電設備	あり(要検討)		なし	C	C	

部位・部材仕様水準表		修繕	県立学校	施設修繕			今回	標準	
機能	部位・部屋	構造・分類・対応	対象	整備レベル	整備レベル	整備レベル			
				A	B	C			
回復	屋根・屋上		修繕範囲	全体	劣化部のみ	既存のまま	B	B	
回復	屋根・屋上		下地処理	撤去工法	かぶせ工法 (荷重計算は必須)	部分補修 (建替えが近い場合)	C	C	
回復	屋根・屋上	陸屋根	保護層	保護防水	露出防水		B	B	
回復	屋根・屋上	陸屋根	防水層	高耐久性防水	一般耐久性防水		B	B	
回復	屋根・屋上	勾配屋根	屋根葺材(更新の場合)	ステンス鋼板・瓦	ガルバリウム鋼板・コロニアル	普通鋼板(スチール)・シングル	B	B	
回復	屋根・屋上	勾配屋根	屋根葺材(更新の場合)	瓦	スレート(コロニアル)	アスファルトシングル	B	B	
回復	外壁	仕上	躯体	コンクリート・金属パネル	押出し成型セメント板	ALC・窯業系サイディング	C	C	
回復	外壁	仕上	既存塗膜処理	全撤去	脆弱部撤去	洗浄のみ	B	B	
回復	外壁	仕上	仕上	珪藻土・高耐久塗装	防水形・弾性塗装	一般塗装・素地	B	B	
回復	外壁	S・W	修繕範囲	全体	一部	既存のまま	B	B	
回復	外壁	S・W	外壁材・パネル	金属・木質系パネル	押出成型セメント板	ALC・窯業系サイディング	C	C	
回復	外壁	バルコニー		床防水	かぶせ工法	部分補修・保護塗装	C	C	
回復	外壁	バルコニー		手摺	全撤去更新	部分補修	C	C	
付加	外壁	省エネルギー対応	外壁の断熱	外断熱パネル	内断熱・ウレタン50mm	なし	C	C	
回復	外部開口部	アルミサッシ	修繕範囲	全体	一部	既存のまま	C	C	
回復	外部開口部	アルミサッシ	アルミサッシ工法	撤去工法	かハエ工法	クリーニング・塗装	A	A	
回復	外部開口部	アルミサッシ	サッシ	二重サッシ	複層ガラスサッシ	一般サッシ	B	B	
回復	外部開口部	S・W	開口廻り	SUS、アルミ更新	鋼板更新	既存のまま	C	C	
付加	外部開口部	省エネルギー対応	開口部の断熱	Low-eガラス	一般複層ガラス・一部Low-eガラス	なし	C	C	
付加	外部開口部	省エネルギー対応	自然換気の導入	全体	一部	なし	C	C	
付加	外部開口部	省エネルギー対応	日射抑制ひさし	全体	一部	なし	C	C	
付加	外部開口部	防災機能の強化	ガラス飛散防止	合せガラス	フィルム(Low-eガラス部)	なし	C	C	
回復	内部	教室	床	修繕範囲	全体	不良部	なし	B	B
回復	内部	教室	床	既存処理	下地撤去	仕上撤去	既存残置	C	C
回復	内部	教室	床	下地	既存と同材料		A	A	
回復	内部	教室	床	仕上	既存と同材料		A	A	
回復	内部	教室	壁	修繕範囲	全体	不良部	なし	B	B
回復	内部	教室	壁	既存処理	仕上・下地撤去	仕上撤去	既存残置	C	C
回復	内部	教室	壁	仕上	既存と同材料		A	A	
回復	内部	教室	天井	修繕範囲	全体	不良部	なし	B	B
回復	内部	教室	天井	既存処理	仕上・下地撤去	仕上撤去	既存残置	C	C
回復	内部	教室	天井	仕上	既存と同材料		A	A	
回復	内部	廊下	床	改修範囲	全体	不良部	なし	B	B
回復	内部	廊下	床	修繕範囲	下地撤去	仕上撤去	既存残置	C	C
回復	内部	廊下	床	下地	既存と同材料		A	A	
回復	内部	廊下	床	仕上	既存と同材料		A	A	
回復	内部	廊下	壁	修繕範囲	全体	不良部	なし	B	B
回復	内部	廊下	壁	既存処理	仕上・下地撤去	仕上撤去	既存残置	C	C
回復	内部	廊下	壁	仕上	既存と同材料		A	A	
回復	内部	廊下	天井	修繕範囲	全体	不良部	なし	B	B
回復	内部	廊下	天井	既存処理	仕上・下地撤去	仕上撤去	既存残置	C	C
回復	内部	廊下	天井	仕上	既存と同材料		A	A	

回復	内部	間仕切		LGS	全更新・RC面新設	全撤去更新	部分撤去更新	C	C
回復	内部	間仕切		学校間仕切	木製特注	木製規格品	金属製規格品	C	C
回復	内部	建具		防火戸以外	木製特注	木製規格品	金属製規格品	C	C
回復	内部	その他		家具什器類	黒板・ロッカー・実験台類	黒板・ロッカー類	黒板・掲示板程度	C	C
回復	内部	便所	床	修繕範囲	全体	不良部	なし	B	B
回復	内部	便所	床	既存処理	下地撤去	仕上撤去	既存残置	C	C
回復	内部	便所	床	下地	既存と同材料			A	A
回復	内部	便所	床	仕上	既存と同材料			A	A
回復	内部	便所	壁	修繕範囲	全体	不良部	なし	B	B
回復	内部	便所	壁	既存処理	仕上・下地撤去	仕上撤去	既存残置	C	C
回復	内部	便所	壁	仕上	木板・化粧ケイカル板	ボード・塗装	塗装・クリーニングのみ	C	C
回復	内部	便所	壁	タイル仕上	タイル張替	タイル再接着	タイル撤去	C	C
回復	内部	便所	天井	修繕範囲	全体	不良部	なし	B	B
回復	内部	便所	天井	既存処理	仕上・下地撤去	仕上撤去	既存残置	C	C
回復	内部	便所	天井	仕上	既存と同材料			A	A
付加	内部	便所	学習環境の向上	トイレ洋式化(範囲)	全体	一部(必要数)	なし	B	B
付加	内部	便所	学習環境の向上	トイレ洋式化(床)	全体	洋式化便器周りのみ	なし	B	B
付加	内部	便所	学習環境の向上	トイレ洋式化(工法)	在来工法(はつり)		リモデル工法	C	C
付加	内部	便所	学習環境の向上	トイレ洋式化(配管)	主管まで更新	一部(横引管接続まで)	既存残置	B	B
付加	内部	便所	学習環境の向上	トイレ洋式化(ブース)	取り換え	扉取り換え	扉開閉方向変更	C	C
付加	内部	便所	学習環境の向上	トイレ洋式化(紙巻き器)	更新	一部(1系統)	既存残置	A	A
付加	内部	便所	バリアフリー化	多目的トイレの整備	設置(可能な場合)		なし	B	B
回復	電気設備	受変電設備	修繕範囲	全体	全体	不良部	なし	B	B
回復	電気設備	受変電設備	受変電・幹線ケーブル	特高		高圧	低圧	B	B
回復	電気設備	電気設備	分電盤・配線	全更新		部分更新	不具合補修	A	A
回復	電気設備	弱电設備	通信・放送・テレビ・防犯警備等	特殊		一般	なし	A	A
回復	電気設備	電力設備	蛍光灯(修繕範囲)	全体		一部(室単位)	なし	B	B
付加	電気設備		省エネルギー対応	高効率照明(LED)	全体	一部(必要部分)	なし	B	B
回復	給排水衛生設備	給水設備	修繕範囲	全体		不良部	なし	B	B
回復	給排水衛生設備	給水設備	受水槽・高置水槽	更新(サイズダウン検討)		全面塗装	部分塗装	B	B
回復	給排水衛生設備	給水設備	ポンプ類(制御盤含む)	更新		オーバーホール	消耗品取り換え	A	A
回復	給排水衛生設備	給水設備	既存配管類	残置(必要箇所のみ撤去)			全撤去	A	A
回復	給排水衛生設備	給水設備	配管類	鋼管		塩ビ管・一部鋼管	塩ビ以外の樹脂管	B	B
回復	給排水衛生設備	給湯設備	配管類	鋼管		耐熱塩ビ管	塩ビ以外の樹脂管	C	C
回復	給排水衛生設備	排水設備	屋内配管類	配管・器具全更新		配管・器具部分更新	ポンプ・不具合補修	B	B
回復	給排水衛生設備	排水設備	下水道接続時	既存配管残置			既存配管全撤去	A	A
回復	給排水衛生設備	排水設備	下水道接続時	浄化槽有効活用			浄化槽撤去	A	A
回復	給排水衛生設備	排水設備	屋外配管類	配管・器具全更新		配管・器具部分更新	ポンプ・不具合補修	A	A
回復	給排水衛生設備	ガス設備	器具類	器具更新		器具修繕	器具変更検討(安価)	C	C
回復	給排水衛生設備	ガス設備	配管類	配管・器具全更新		配管・器具部分更新	不具合補修	C	C
回復	給排水衛生設備	消火設備	消防配管類	スプリンクラー		屋内消火栓	消火器	B	B
回復	空調設備	冷暖房設備	機器・配管類	全体		一部(室単位)	なし	B	B
回復	空調設備	換気設備	換気方式	機械換気(窓換気扇)		機械換気(便所)	自然換気	C	C

部位・部材仕様水準表		新築		高等学校		体育館		今回	標準
機能	部位・部屋	構造・分類	対象	整備レベル A(高い)	整備レベル B	整備レベル C(低い)			
標準	躯体	構造	躯体	SRC・RC	S(鉄骨造)	W(木造)	B	B	
標準	屋根・屋上	陸屋根	保護層	保護防水	露出防水		B	B	
標準	屋根・屋上	陸屋根	防水層	高耐久性防水	一般耐久性防水		B	B	
標準	屋根・屋上	勾配屋根	屋根葺材	ステンレス鋼板	ガルバリウム鋼板	普通鋼板(スチール)	B	B	
標準	屋根・屋上	勾配屋根		瓦	スレート(コロニアル)	アスファルトシングル	B	B	
標準	外壁	仕上	躯体	金属系サイディング (アルミ、ステンレス)	金属系サイディング (ガルバリウム鋼板)	鋼板	B	B	
標準	外壁	仕上	仕上	高耐塗装・射熱塗装	耐候性塗料	一般塗装・素地	B	B	
標準	外部開口部		アルミサッシ	複層ガラスサッシ	一般サッシ		B	B	
標準	内部	アリーナ	床	下地	鋼製床組	木床組	A	A	
標準	内部	アリーナ	床	仕上	スボーツフロア床	複合フローリング	A	A	
標準	内部	アリーナ	天井	仕上	軽量天井耐震天井	裸天井	C	C	
標準	内部	アリーナ	壁	仕上	木板(腰壁までも含む)	化粧ボード	C	C	
標準	内部	ステージ	床	下地	鋼製床組	木床組	B	B	
標準	内部	ステージ	床	仕上	スボーツフロア床	複合フローリング	B	B	
標準	内部	ステージ	壁	仕上	木板(腰壁までも含む)	化粧ボード	A	A	
標準	内部	廊下	床	下地	鋼製床組・置床	木床組・モルタル・シダー	C	C	
標準	内部	廊下	床	仕上	フローリング	機能性シート	C	C	
標準	内部	廊下	壁	仕上	木板(腰壁までも含む)	化粧ボード	C	C	
標準	内部	廊下	天井	仕上	木質系・岩綿吸音板	化粧PB	C	C	
標準	内部	諸室他	床	下地	鋼製床組・置床	木床組・モルタル・シダー	C	C	
標準	内部	諸室他	床	仕上	フローリング	機能性シート	C	C	
標準	内部	諸室他	壁	仕上	木板(腰壁までも含む)	化粧ボード	C	C	
標準	内部	諸室他	天井	仕上	木質系・岩綿吸音板	化粧PB	C	C	
標準	内部	便所	床	下地	鋼製床組	木床組・モルタル・シダー	B	B	
標準	内部	便所	床	仕上	フローリング	長尺シート	B	B	
標準	内部	便所	壁	仕上	木板・化粧ケイカル板	ボード+塗装	B	B	
標準	内部	便所	天井	仕上	化粧ケイカル板	ボード+塗装	B	B	

標準	電気設備	受変電設備	受変電・幹線ケーブル	特高	高圧	低圧	B	B
標準	電気設備	弱電設備	通信・放送・防犯警備等	特殊	一般	なし	B	B
標準	給排水衛生設備	給湯設備	給湯方式	中央方式	局所式	なし(電気ポット)	C	C
標準	空調設備	冷暖房設備	熱源方式	方式検討(設置はしない)		検討しない	A	A
標準	空調設備	換気設備	換気方式	機械換気		自然換気	C	C
付加	学習環境の向上	屋内走路 床	仕上	スホークツフロア床		一般塗装・素地	A	A
付加	学習環境の向上	屋内走路 天井	仕上	軽量天井耐震天井	親天井	木毛セメント板表し	C	C
付加	学習環境の向上	半屋外空間	ビロティ・大庇	設置		なし	A	A
付加	学習環境の向上		トイレドライ化	全体	一部	なし	A	A
付加	省エネルギー対応		屋上の断熱	外断熱(防水)	内断熱(スラブ下・ウレタン25mm)	なし	C	C
付加	省エネルギー対応		外壁の断熱	外断熱パネル	内断熱(ウレタン50mm)	なし	C	C
付加	省エネルギー対応		開口部の断熱	Low-eガラス	一般複層ガラス・一部Low-eガラス	なし	C	C
付加	省エネルギー対応		LED照明	全体	一部	なし	A	A
付加	バリアフリー化		エレベーター設置	あり(1機/1校)		なし	C	C
付加	バリアフリー化		多目的トイレ整備	各所	一部	なし	C	C
付加	バリアフリー化		スロープの設置	全体	一部	なし	B	B
付加	防災機能の強化		避難所運営スペース	専用室	兼用	なし	B	B
付加	防災機能の強化		ガラス飛散防止	合せガラス	フィルム(Low-eガラス部)	なし(強化ガラス)	C	C
付加	防災機能の強化		自家発電設備	あり(要検討)		なし	C	C
付加	メンテナンス性向上		1階水周り下ビット化	全体	一部	なし	A	A
付加	メンテナンス性向上		屋上階段設置	あり		なし	C	C
付加	メンテナンス性向上		PS・EPS・DS設置	あり	一部	なし	B	B

部位・部材仕様水準表		計画保全		高等学校			体育館		
機能	部位・部屋	構造・分類・対応	対象	整備レベル	整備レベル	整備レベル	今回	標準	
				A	B	C			
回復	屋根・屋上		改修範囲	全体	劣化部のみ	既存のまま	A	A	
回復	屋根・屋上	陸屋根	新規防水	保護防水	露出防水	保護塗装のみ	B	B	
回復	屋根・屋上	陸屋根	防水層	高耐久性防水	一般耐久性防水	保護塗装のみ	B	B	
回復	屋根・屋上	勾配屋根	工法	葺き替え	かぶせ工法 (荷重計算は必須)	部分補修、塗装	B	B	
回復	屋根・屋上	勾配屋根	屋根葺材	ステンレス鋼板	ガルバリウム鋼板	普通鋼板(スチール)	B	B	
回復	屋根・屋上			瓦	スレート(コロンアル)	アスファルトシングル	B	B	
回復	外壁	S	改修範囲	全体	一部	既存のまま	A	A	
回復	外壁	S	既存処理	全撤去、張替え	劣化部撤去、張替え	既存のまま	B	B	
回復	外壁	S	新規材料	金属系サイディング (アルミ、ステンレス)	金属系サイディング (ガルバリウム鋼板)	鋼板	B	B	
回復	外壁	S	塗装	高耐塗装・射熱塗装	耐候性塗料	既存のまま	B	B	
回復	外壁	RC・SRC	改修範囲	全体	一部	既存のまま	A	A	
回復	外壁	RC・SRC	既存塗膜処理	全撤去	脆弱部撤去	洗浄のみ	B	B	
回復	外壁	RC・SRC	新規仕上	高耐塗装・射熱塗装	防水形・弾性塗装	一般塗装・素地	B	B	
回復	外部開口部	アルミサッシ	改修範囲	全体	一部	既存のまま	A	A	
回復	外部開口部	アルミサッシ	工法	撤去工法	かバー工法	クリーニング・塗装	C	C	
回復	外部開口部	アルミサッシ	アルミサッシ	複層ガラスサッシ	一般サッシ	既存残置	C	C	
回復	外部開口部	アルミサッシ	ガラス	全更新	一部更新	クリーニングのみ	B	B	
回復	内部	アリーナ	床	改修範囲	全体	一部	なし	A	A
回復	内部	アリーナ	床	既存処理	仕上・下地撤去	仕上撤去	既存残置	C	C
回復	内部	アリーナ	床	下地	鋼製床組	木床組	既存残置	C	C
回復	内部	アリーナ	床	仕上	スホーツフロア床	複合フローリング	既存研磨・ウレタン塗装	C	C
回復	内部	アリーナ	壁	改修範囲	全体	一部	なし	A	A
回復	内部	アリーナ	壁	既存処理	仕上・下地撤去	仕上撤去	既存残置	C	C
回復	内部	アリーナ	壁	仕上		有孔合板+塗装	既存塗装	C	C
回復	内部	アリーナ	天井	改修範囲	全体	一部	なし	C	C
回復	内部	アリーナ	天井	既存処理	仕上・下地撤去	仕上撤去	既存残置	C	C
回復	内部	アリーナ	天井	仕上	軽量天井耐震天井	膜天井	木毛セメント板表し、既存残置	C	C
回復	内部	ステージ、諸	床	改修範囲	全体	一部	なし	A	A
回復	内部	ステージ、諸	床	既存処理	仕上げ、下地撤去	仕上撤去	既存残置	C	C
回復	内部	ステージ、諸	床	下地	鋼製床組	木床組	既存残置	C	C
回復	内部	ステージ、諸	床	仕上	スホーツフロア床	複合フローリング	既存研磨・ウレタン塗装	C	C
回復	内部	ステージ、諸	壁	改修範囲	全体	一部	なし	A	A
回復	内部	ステージ、諸	壁	既存処理	仕上・下地撤去	仕上撤去	既存残置	C	C
回復	内部	ステージ、諸	壁	仕上	木板	ホート+塗装	塗装・クリーニングのみ	C	C
回復	内部	ステージ、諸	天井	改修範囲	全体	一部	なし	C	C
回復	内部	ステージ、諸	天井	既存処理	仕上・下地撤去	仕上撤去	既存残置	C	C
回復	内部	ステージ、諸	天井	仕上	木質系・岩吸板	化粧PB	直天・塗装	C	C

回復	内部	便所	床	改修範囲	全体	一部	なし	B	B
回復	内部	便所	床	既存処理	下地撤去	仕上撤去	既存残置	C	C
回復	内部	便所	床	下地	鋼製床組	木床組・モルタル・シダー	直貼	C	C
回復	内部	便所	床	仕上	フローリング	シート	既存研磨・クリーニング	C	C
回復	内部	便所	壁	改修範囲	全体	一部	なし	B	B
回復	内部	便所	壁	既存処理	仕上・下地撤去	仕上撤去	既存残置	C	C
回復	内部	便所	壁	仕上	木板・化粧ケイカル板	ホード+塗装	塗装・クリーニングのみ	C	C
回復	内部	便所	天井	改修範囲	全体	一部	なし	C	C
回復	内部	便所	天井	既存処理	仕上・下地撤去	仕上撤去	既存残置	C	C
回復	内部	便所	天井	仕上	化粧ケイカル板	ホード+塗装	塗装・クリーニングのみ	C	C
回復	内部	間仕切		LGS	全更新・RC面新設	全撤去更新	部分撤去更新	C	C
回復	内部	間仕切		学校間仕切	全更新(木製)	全更新(規格品・在来)	部分更新	C	C
回復	内部	建具		学校間仕切	全更新	部分更新	塗装更新	C	C
回復	内部	その他		家具什器類	黒板・等全更新	黒板等一部更新	既存利用	C	C
回復	電気設備	受変電設備	受変電・幹線ケーブル	特高	高圧	低圧		B	B
回復	電気設備	電気設備	分電盤・配線	全更新	部分更新	不具合補修		A	A
回復	電気設備	弱電設備	通信・放送・テレビ・防犯警備等	特殊	一般	なし		A	A
付加	電気設備	省エネルギー対応	高効率照明(LED)	全体	一部	なし		A	A
付加	電気設備	省エネルギー対応	太陽光発電	あり(要検討)		なし		C	C
付加	電気設備	防災機能の強化	自家発電設備	あり(要検討)		なし		C	C

資料M-1

高等学校における冷暖房設備、換気設備の設置

資料M-1

(教育施設課)

区	分	冷暖房設備	換気扇 ※1	全熱交換器	備	考	区	分	冷暖房設備	換気扇 ※1	全熱交換器	備	考	
作 理 諸 室	校長室	○		○	B, ④, ⑤		特 別 教 室 共 用 部	物理実験室	○※2			A		
	事務室	○		○	B, ④, ⑤			理科実験室等	化学実験室	○※2	○※2		A, ①, ③	
	応接室	○			B			生物実験室	○※2	○※2		A, ③		
	職員室	○		○	B, ④, ⑤			地学実験室	○※2			A		
	会議室	○	○		B, ④			書庫		○		①		
	印刷室	※2						家庭科室等 芸術科室等	調理室	○※2	○※2		A, ①, ②, ③	
	休養室								被服室	○※2			A	
	職員更衣室								作法室					
	進路指導室	○※3	○		B, ④				音楽室	○※2	○※2		A, ①	
	生徒指導室	○※3	○		B, ④				美術室	○※2			A	
	生徒相談室	○※3	○		B, ④				書道室	○※2			A	
	教材室								他 部	視聴覚室	○	○		A, ①
	教科研究室	※2						生徒ホール						
	保健室	○		○	B, ②, ④, ⑤			玄関						
	図書室	○	○※4	○※4	B, ①, ⑤			生徒昇降所						
	放送室							階段						
	購買室							使用所			○		②	
	湯沸室							機械室						
	生徒会室							エレベーター						
体育準備室	※2					廊下								
普通教室	○				A									
給食室	○	○		B, ②										

※1 換気扇は原則天井扇とする。
 ※2 印刷室、教科研究室、各準備室等へは冷暖房設備及び換気扇は設置しない。将来用として冷暖房設備が必要な場合は、配管スリーブ、電源等の設置を検討
 ※3 通路資料室等の冷暖房設備の設置が適当でない諸室には設置しない。
 ※4 原則換気扇の設置とするが、図書室内で別室として区画されており、常時（長時間）人が滞在している部屋（自習室や可書室等）は全熱交換器を設置とする

設備	設置する室の考え方
冷暖房設備	AまたはBに該当する室
換気扇（天井扇）	①～④のいずれかに該当する室
全熱交換器	①～④のいずれか、かつ⑤に該当する室

判断基準	
A	授業での利用率30%以上の室
B	授業で使わないが使用頻度の高い室
①	内外部の音・光・風の影響を防ぐため、積算等を使用する、あるいは窓を閉め切る室
②	食品を扱うなど衛生環境を適正に保つ必要がある室
③	火気を使用し、発する熱により高温になる室
④	秘密情報保護のため、扉・窓等を閉め切る室
⑤	常時（長時間）人が滞在している室